みさとさくらの森　自己評価 （評価対象：令和2年度）

A：そう思う　B：まあそう思う　C：あまりそう思わない　D：そう思わない

Ⅰ　保育目標・保育方針		評価			
①	園の保育目標や保育方針は分かりやすい。	A	Ⓑ	C	D
②	園の保育目標が子ども達の中に生きている。	A	Ⓑ	C	D
③	園の保育目標や方針について、園長や他の保育教諭と話をする機会がある。	A	Ⓑ	C	D
④	保育方針は、その時々の幼児に合ったものになるように定期的に見直されている。	A	Ⓑ	C	D
⑤	園の保育目標は、園の創立の理念を生かしている。	A	Ⓑ	C	D

Ⅱ　保育計画		評価			
①	園の保育計画は、教育目標を生かして作られている。	A	Ⓑ	C	D
②	子どもたちの年齢ごとの保育計画がある。	A	Ⓑ	C	D
③	園の保育計画は、園長と保育教諭が話し合いながら作られている。	A	Ⓑ	C	D
④	園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	A	Ⓑ	C	D
⑤	園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。	A	Ⓑ	C	D

Ⅲ　保育環境		評価			
①	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切にし心地よい環境で保育が出来るように努めている。	A	Ⓑ	C	D
②	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している。	A	Ⓑ	C	D
③	安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。	A	Ⓑ	C	D
④	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	A	Ⓑ	C	D
⑤	年齢の異なる園児が、触れ合えるような環境構成をしている。	A	Ⓑ	C	D

Ⅳ　保育内容・方法		評価			
①	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	A	Ⓑ	C	D
②	園児にわかりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている。	A	Ⓑ	C	D
③	基本的生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	A	Ⓑ	C	D
④	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む考慮をしている。	A	Ⓑ	C	D
⑤	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	A	Ⓑ	C	D

Ⅴ　食育		評価			
①	いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにした。	A	Ⓑ	C	D
②	食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができた。	A	Ⓑ	C	D
③	食事中のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境ができていた。	A	Ⓑ	C	D

④	栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫が出来た。	A	Ⓑ	C	D
⑤	野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感が得られるようにした。	A	Ⓑ	C	D

Ⅵ 保育教諭の役割・質向上		評価			
①	一人ひとりの園児をよく観察するように心がけている。	A	Ⓑ	C	D
②	全ての園児に平等に接するように心がけている。	A	Ⓑ	C	D
③	その場にふさわしい言葉遣いができる。	A	Ⓑ	C	D
④	研修に行った保育教諭の研修内容は、全員に紹介される。	A	Ⓑ	C	D
⑤	園児のモデルとなれるように気を付けている。	A	Ⓑ	C	D
⑥	保護者との信頼関係が出来ている。	A	Ⓑ	C	D

Ⅶ 子育て支援		評価			
①	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている。	A	Ⓑ	C	D
②	保護者の子育てについての相談にのっている。	A	Ⓑ	C	D
③	子育て支援の内容について全員で話し合いをしている。	A	Ⓑ	C	D
④	子育て講演、情報提供を行っている。	A	B	Ⓒ	D
⑤	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	A	Ⓑ	C	D

Ⅷ 地域住民や関係機関との連携		評価			
①	地域の人々と親しく挨拶ができる。	A	Ⓑ	C	D
②	地域の人は、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解している。	A	B	Ⓒ	D
③	地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れている。	A	Ⓑ	C	D
④	地域の人との交流を大切にしている。	A	Ⓑ	C	D

Ⅸ 運営管理		評価			
①	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A	Ⓑ	C	D
②	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	A	Ⓑ	C	D
③	保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	A	Ⓑ	C	D
④	園の施設の安全点検、衛生管理をしっかり行っている。	A	Ⓑ	C	D
⑤	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある。	A	Ⓑ	C	D
⑥	緊急時のために医療機関等の連絡先が明示されている。	A	Ⓑ	C	D

評価者　　幼保連携型認定こども園　みさとさくらの森

学校評価シート（学校関係者評価）
（評価対象：令和２年度）

幼保連携型認定こども園みさとさくらの森

日時　　令和３年２月15日（月）10:00～

園見学参加者：　評価委員保護者２人、園長、桜小学校校長（欠席）

※桜小学校校長先生には後日評価を頂き、下記に記載しております。

１．基本事業計画・自己評価を受けて

・Ⅰ教育方針・保育方針→「クラスに差は無く」「クラス以外の子どもにたくさん関わる環境」とのことから、職員のみなさんが、「保育目標・保育方針」を常に意識しながら日々の職務にあたられていることが分かりました。

・Ⅱ保育計画→「子どもの動きをよく観察し」「新たに遊びを促しながら保育を進めている」とのことから、一人一人の子どもの実態を掴みながら、保育を進めていることが分かりました。「週案や月案を園長先生と確認し合うことができている」とのことから、園長先生のご指導のもと計画的に保育が進められていることが分かりました。

・Ⅲ保育環境→「屋外での活動については苦情に悩む」「騒音の苦情」等から、職員のみなさんが、地域への配慮をしながら保育を進めていることが分かりました。今年は、コロナウィルス感染症の予防のため、消毒や換気などご苦労が多かったと思います。

・Ⅳ保育内容・方法→「穏やかに話」等先生方が言語環境を整えて保育にあたっていることや保護者と連携しながら保育方法を工夫なさっていることが分かりました。

・Ⅴ食育→「給食のメニューを一緒に確認したり、季節の食材に触れたりする」「野菜を育てる・収穫する」等から子どもたちに食に興味が持てるよう様々な工夫がされていると感じました。

・Ⅵ保育士の役割・質向上→「一日の中で全員と話せるように心がけた」「偏った見方にならないように他の先生とも相談しながら保育」等から、先生方が周りの職員と協働しながら、一人一人の園児を大切にしていることが分かりました。

・Ⅶ子育て支援→コロナ禍で保育参観が行えず、保護者との連携を電話や連絡ノート中心に図ってきたとのこと、顔を合わせないコミュニケーションは大変だったかと思います。

・Ⅷ地域住民や関係機関との連携→コロナ禍でもあり、連携を図る機会が限られていました。地域の方との挨拶を心掛けていたとのこと大切なことだと思います。「花の日や地域感謝祭などで地域訪問、交流がもてた」のは、すばらしいですね。

・Ⅸ運営管理→「安全点検、衛生管理は毎日チェック」「自分一人で悩まず相談して対応」「事故災害マニュアルを鞄に入れて持ち歩く」「不安点があればすぐに点検」等、危機管理意識が高いと感じました。

・教職員の自己評価はほぼ「B」評価ですね。特に大きな問題もなく、保護者、園児が園の生活を充実できいると思います。

・地域の方からの理解の部分が「C」でしたが、門の開閉に対するクレームが反映されているのかなと思いました。

・引き続き配慮できる部分は気をつけて、園、近隣の方々とうまく共存していきたいところです。

・子どもを中心に、保育目標や活動内容が考えられていて良いと感じた。

・保育目標の教職員の意見をみて、なぜキリスト教保育を実施しているのかHP等で説明があるといいと思った。

・縦割りで他の年齢の子と関わる時間もあるのは良い。

・保育環境の教職員の意見でコロナ対策は主に換気と行事の縮小・消毒などとわかりました。また先生方がマスクをすることで、小さな子どもの保育（表情・言葉・食べること）に影響があるとTV等でみたことがあり、コロナ禍でやむをえないと思いますが、気になりました。

２．園内見学をしていただいて子ども達の様子について

・幾度か、訪問した時に見た子どもの様子や、園の教室から聞こえてくる元気な歌声や挨拶の声から、約束事を守りながら、元気に伸び伸びと成長していると感じました。
・クラスや学年の区切りがなく、のびのびとした関わり合いが子どもたちの成長を促しているのではないかなと感じました。自分たちの好きなお友だち、遊具を選んで遊べるスタイルは子どもたちを生き生きとさせていてとてもよかったです。
・みんな楽しそうに過ごしていた。
・トイレトレーニング・着替えなど生活に必要なことを先生方がサポートしてくれていて、とても助かる。
・幼稚園棟の子どもたちの様子をみてマスクを常にするのは難しそうだなと感じました。

３．園内見学をしていただいて環境について

・幾度か、訪問したときの感想ですが、清掃が行き届いているなと感じました。明るい感じがします。また職員の方々の来客対応もいつもさわやかで嬉しいです。
・とてもきれいで清潔感のある園舎・園庭でした。安全や明るさにも配慮されていて、安心して子どもをお願いできる環境でした。
・教室・玄関などきれい。
・職員室を開放していて子どもたちが自由に入れるのは、必ず誰か先生が１人でもいれくれたら安心。小中学校の職員室とは雰囲気が違って、メリットもありそうと感じた。

４．今後園に期待すること

・「教職員の意見」を読ませて頂き、コロナ禍の中、職員のみなさんが工夫しながらチームとなって、日々の教育活動にあたっているのを強く感じました。引き続き保幼小の連携に努めて参ります。よろしくお願いします。
・子どもたちが主体的に選んで行動できる環境は引き続きしていただけると嬉しいです。
・コロナの対策も大変な状況ですが、こちらも引き続きお願いできましたら幸いです。
・延長保育用の補食やおやつも子どもたちの健康や栄養を考えたものを検討してほしいです。市販品が多いと聞いたので、塩分や添加物が気になります。